

平成 27 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 BEENOS 株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
 (コード番号 3328 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二
電 話 03-5739-3350

営業投資有価証券の売却益の計上ならびに特別損失（減損損失）の計上に
伴う業績予想の修正に関するお知らせ

次のとおり営業投資有価証券の売却益の計上ならびに特別損失（減損損失）の計上をすることとなりました。また、それに伴い平成 27 年 2 月 13 日に発表いたしました「平成 27 年 9 月期の連結業績予想（通期）」を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業投資有価証券の売却益の計上について

インキュベーション事業において次のとおり営業投資有価証券を売却いたしました。

- (1) 売却年月日： 平成 27 年 4 月 16 日
- (2) 売却株式： 当社の連結子会社が保有する海外未上場有価証券 1 銘柄
- (3) 売却額： 3.7 百万 US ドル（約 431 百万円 ※）
- (4) 売却益： 3.4 百万 US ドル（約 396 百万円 ※）

※ 円換算は、1 US ドル=116.75 円（3 月末日期中平均レート）で想定し記載しておりますが、為替レートの変動により最終的な損益は、変更となる可能性があります。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

E コマース事業セグメントのクロスボーダー部門である「グローバルショッピング事業(TO JAPAN)」は、eBay, inc. との業務提携のもと、世界中の商品を日本に居ながら購入できるサービス「sekaimon」を運営しております。平成 25 年以降の円安基調の継続を背景に海外商品の購入マインドが低調に推移する中、ショッピングサイトのリニューアルやカスタマーサポートの強化、スマートフォンのユーザーインターフェイスの改善等により売上の維持に努めて参りましたが、直近の業績推移を勘案し、保有する固定資産とのれんを全額減損すべきであると判断し、減損損失として特別損失に計上することにいたしました。

- (1) 資産の内容： 工具、器具及び備品、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定、のれん
 (2) 減損金額： 147 百万円

3. 平成 27 年 9 月期 連結業績予想（通期）の修正について

(1) 業績予想の修正

（通期 平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,000	百万円 600	百万円 570	百万円 470	円 銭 38.70
今回修正予想 (B)	17,400	800	770	550	45.29
増減額 (B-A)	400	200	200	80	—
増減率 (%)	2.3	33.3	35.0	17.0	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成 26 年 9 月期)	12,599	△358	△367	△450	△37.82

(2) 修正の理由

直近の業績推移及び見通しに、上述の営業投資有価証券の売却益及び減損損失を加味し、業績予想を修正いたします。なお、今回計上した営業投資有価証券の売却益をてこに、円安と訪日客の増加を背景に伸長しているクロスボーダー事業 (FROM JAPAN) において人員増強、システム投資、プロモーション強化等をより加速させ、クロスボーダー事業での圧倒的 No. 1 の確立を目指します。また、同様にバリューサイクル事業においても積極的な広告宣伝を投下していくことで、ネット宅配買取事業における圧倒的 No. 1 を目指して参ります。

※ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報から得られた判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となりえることをご承知ください。

なお、平成 27 年 9 月期第 2 四半期の連結業績の発表は平成 27 年 4 月 23 日を予定しております。

以上